

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: グリーンアリーナ神戸 Eコート

試合区分: No. 442 少年女子 準々決勝

期 日: 2006(H18)年10月3日(火)

主審: 関口 知之

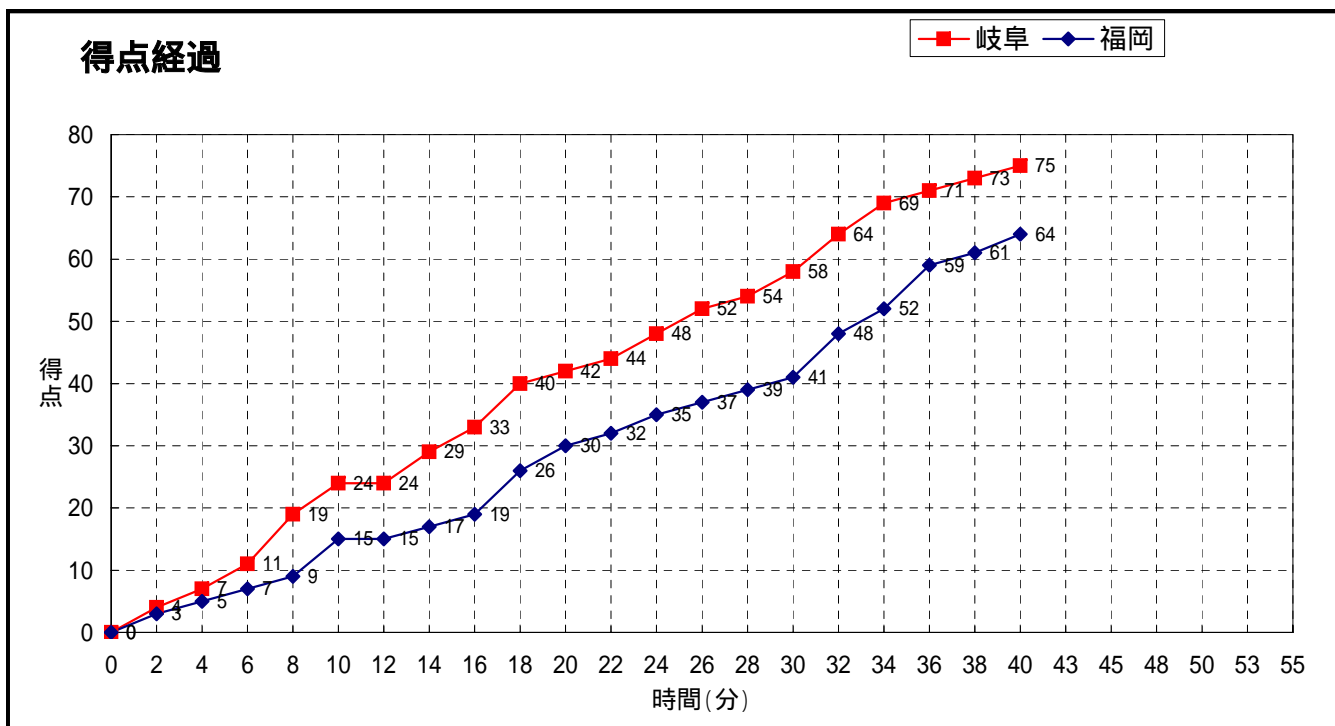
開始時間: 15:25

副審: 春田 香織

終了時間: 16:48

岐阜						福岡									
85						66									
(東海)						(九州)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		安井 未帆	8	2	1	0	0	4	*	森 ムチャ	18	0	9	0	0
5		小野 奈津美	0	0	0	0	0	5	*	反町 真理子	4	0	2	0	0
6	*	田中 優里	16	0	7	2	0	6	*	吉田 千香	5	0	2	1	0
7		張 麗娜	-	-	-	-	-	7		大畑 未央	7	1	2	0	0
8		山川 奈々	-	-	-	-	-	8		小島 綾華	5	0	2	1	0
9	*	田中 沙季	17	0	8	1	0	9		渡辺 寛子	2	0	0	2	0
10	*	水谷 佳代	10	2	1	2	0	10		中野 和来	0	0	0	0	0
11	*	伊藤 恭子	11	1	4	0	0	11	*	堀 美寿希	2	0	1	0	0
12	*	茅谷 由希子	23	3	4	6	0	12		清水 知佳	0	0	0	0	0
13		角島 藍	-	-	-	-	-	13	*	大庭 久美子	23	5	4	0	0
14		小倉 梓	-	-	-	-	-	14		池見 春佳	0	0	0	0	0
15		森本 杏奈	-	-	-	-	-	15		岡村 恵利	0	0	0	0	0
コーチ 安江 満夫						コーチ 吉村 明									
合計			85	8	25	11	0	合計			66	6	22	4	0

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、共にハーフコートマンツーマンディフェンスでスタート。岐阜は#12茅谷にボールを集め得点を重ね、オフェンスリバウンドも頑張りリズムを作っていく。対する福岡は#4森や、#13大庭を中心に攻撃を組み立てるものの、ミスが多く残り7分からノーゴールが続く。福岡はファールも重なり残り2分19 - 7と岐阜がリードする。その後福岡は#13大庭が3Pシュートを連続で決めるものの、他の攻め手がなく岐阜が24 - 15リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、第1ピリオドに引き続き岐阜はオフェンスのリズムがよく、#9田中(沙)、#6田中(優)のジャンプシュートで点差を広げ、残り8分で13点差となったところで、福岡はたまたまタイムアウト。しかしその後も岐阜はハーフコートのディフェンスから福岡のターンオーバーを誘い、#12茅谷の3Pシュートなどから残り4分で40 - 26とリードを広げる。福岡はタイムアウト後、オールコートゾーンプレスからリズムを掴みかけるものの、岐阜もタイムアウトを取ってすぐに対応する。その後互いに決め手を欠いたまま岐阜が44 - 32とリードして前半を終了する。

第3ピリオドに入り岐阜はハーフコートマンツーマンディフェンス、福岡はハーフコートの3 - 2ゾーンディフェンスで開始するものの、終始岐阜のペースでゲームは進む。岐阜はディフェンスをよく頑張り#9田中(沙)、#11伊藤の速攻や1on1で点差を広げる。福岡は#4森にボールを集めるが、うまく機能しない。さらに、タイムアウトを取ってディフェンスを変化させたものの効果なく、岐阜が64 - 48とリードして第3ピリオドを終了する。

第4ピリオドに入り、福岡はオールコートゾーンプレスから、徐々にペースを掴み、オフェンスにおいても#4森が連続してオフェンスリバウンドからゴールを奪い、#13大庭の3Pシュートなどで71 - 61とした。ここで岐阜がすかさずタイムアウトを取り建て直しを図る。しかし、その後も岐阜はハーフコートでのトラップ・ディフェンスから何度ボールを奪われるものの、福岡はシュートの正確性に欠け、追い上げることができない。岐阜が85 - 66で粘る福岡を振り切り準決勝進出を決めた。

担当者: 榎田 安史(兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会